小須戸公民館報

発行所 小須戸町中央公民館
発行人 岡 謙吾
発行日 毎月15日

この町中を花でいっぱいに!!

～花とみどりのシンボルゾーン完成～

五月四日、花と緑のシンボルゾーンは植木・盆栽まつりで大いににぎわった。これからは普段、この施設をどう活用していくのか注目したい。

先月、うでこき地内に花と緑の小須戸町のシンボル的施設が完成しました。昭和五十五年に「花と緑の町」宣言を行って十三年目、ようやく活動の中心的施設が完成しました。

公民館報ではここ数年、この宣言に基づき町民のみなさんと関わってきました。今月もシンボルゾーンを通し、どう花と緑の町づくりを進めたらよいか考えていきます。

シンボルゾーン完成

四月十六日、「花と緑の小須戸町」の活動の中心となる〝花とみどりのシンボルゾーン〟が、うでこき地内に完成しました。

このゾーンには

一、花とみどり館（ログハウス）
二、花ステーション（常設展示場）
三、園芸公園

の三施設から成り立っています。花と緑の町を宣言している小須戸町にとってどんな役割があるのでしょうか。

昭和五十五年十月、小須戸町は「花と緑の町」宣言を行いました。この宣言は花と緑を愛護し、より豊かな、そして住みよい町づくりの為に行われました。

この宣言に添い、発足当時から花と緑推進協議会（商工会・農協・老連等）が中心となり、具体的な活動を行ってきています。フラワーボックスの設置・花の苗木のプレゼント・ポスター作成など、町としても、より積極的に活動に関わる姿勢を表わしています。

町として、来年度（平成六年度）にはシンボルゾーンに隣設して農村公園（多目的広場、遊具・トイレ等）が併設される予定です。そして小須戸～矢代田間の県道にはフラワーロードづくりが進められています。

その他に、花を植える活動が町及び、老人クラブ等で連携し行われています。

これらの事業を通して、花と緑の小須戸町は除々に推進されています。

一人ひとりに花を愛する気持ちを

しかし、いかがでしょうか。町が様々な活動を行っている割に私たち一人ひとりにとって、花と緑の小須戸町は今ひとつボヤケてしまいがちです。

なぜなのでしょうか。

花と緑の町宣言を行ってきて以来、町は様々な活動をやってきた事は事実です。しかし、だからといって町民一人ひとりに定着してきているかと言えば、残念ながら未だの**ようで**す。色々な理由はあるでしょうが、考えられることは

※ 中心的な活動が不活発。
※ 町民参加の活動が希薄。
※ 看板が少なくてわかりにくく、宣伝効果がうすい。
※ 公の施設に花が少なく、目につきにくい。
※ 花を育てる知識を得る場が少ない。

などがあげられます。

これらの問題点を解決できる方策として、例えば、花木指導員を設置して、色々な季節の花の育て方や越冬のし方あるいは肥料の選定等、アドバイスや情報を流してもらう。

又、花と緑のシンボルマークをつくる為、みなさんから公募し、決定したら、役場や商工会や学校等の書類につけて、宣伝に努める。

あるいは、花と緑の電話相談を設けて、住民の方からの花の相談とか、住民以外の方々からも相談を受け、花を愛する気持ちを広げる。

以上、三点ほど提案しましたが、これらはほんの一つの手立てかもしれません。みなさんから、もっと良い方法がありましたなら、どしどしご意見をお寄せください。待っています。

この町を花と緑のあふれる町にしよう！
一人ひとりが花と緑の町づくりに関われる町にしよう！
住んで良かったと思える町にしよう！

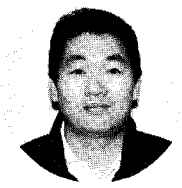
町として目印の看板の設置を望む

館報を読んでみてのご意見・ご感想などをお寄せ下さい。
宛て先
小須戸町若葉町一丁目
中央公民館内館報事務局まで

ちょこっと一言 (62)

「人事をつくして天命を待つ」

矢代田十 野崎 茂さん



私は、この言葉が好きである。例えばスポーツなどでもそうであるが、「敗れても爽快なことがある。とにかく全力をつくし、やるだけやった。」という満足感があれば不思議に敗れたくやしさは湧いてこない。それは積極的に前向きに、物事に取りくんだと言う証明であるとも言える。それに反し、全力を出しきれなかった場合には、あそこで「あすればよかった」「こうすればよかった」と、とかく悔いが残って後味のわるい体験が、ほとんどではあるが、悩み苦しんで一歩一歩それを克服する楽しみも残されているのである。結果はどのようなものであれ、その充実感をもって次なる段階に挑めば、必ず道はひらけると思いませんか。

コールあじさい

チューリップ賞受賞
おかあさんコーラス大会
関東大会出場決まる！

去る四月二十九日(木)県民会館で開催された第九回「おかあさん音楽会」（出場 四十七団体、主催 新潟県合唱連盟）において、コールあじさい（指揮者、加藤隆子さん・ピアノ伴奏阿部重子さん）の皆さんが、見事〝チューリップ賞〟を受賞されました。曲目は、〝栗の実〟・〝仔ぎつねの歌〟・〝夕焼け小焼け〟の三曲です。

この結果、来る七月四日県民会館で開かれる関東大会に本県代表として出場することが決定いたしました。

代表の村山睦さんは、みんなの気持ちが一つとなって大舞台の場の雰囲気に呑まれることなく、日頃の練習の成果が出せたことと、あわせて十二年間やっていてよかったと感激の表情で話してくださいました。

さらなるご健闘を祈ります。がんばれコールあじさい！

バドミントン大会結果報告（敬称略）

◆第十一回小須戸町近郷バドミントン大会

四月十八日(日)町民体育館で約九十名の参加があり、男子・女子の団体戦が繰り広げられました。

男子の部
一位 新津羽球連盟（新津）
二位 五泉達人倶楽部(五泉)
三位 白根連盟合（白根）

女子の部
一位 新潟中央高校A(新潟)
二位 PNL－Ⅲ（五泉）
三位 新潟中央高校B(新潟)

◆第四回新潟県ジュニア小学生バドミントン大会

四月十一日(日)佐渡郡佐和田町の町民体育館で開催され、参加者約二〇〇名という中で本町のジュニアの皆さんが大健闘されました。

男子五年生以下ダブルス
三位 森田一成・鈴木浩彰組（大川前四）（水田）

女子五年生以下ダブルス
ベスト8
石井智栄子・藤田涼子組（蔵町一）（諏訪町一）

女子五年生以下シングルス
ベスト8
島野孝子（蔵町二）

〝清澄な朝、爽やかな空気を吸って散歩をご一緒にどうぞ〟

小須戸分館では、今年も早朝ウォークをやります。朝起きるのが弱い人、まだ早朝ウォークに参加したことのない人、お気軽に参加くださるようお待ちしています。

毎年参加者の方も増えてきております。グループ編成も㈠はやあしグループ㈡のんびりグループと二つに分けています。

期日 五月十二日から六月十三日まで
集合場所 朝五時三十分～六時十分 中央公民館前

公民館新年度事業がはじまりましたよ～

―教室・講座に二百人が参加―

桜もすっかり散り、日に日に温かくなってきました。みんなで何か活動するに、ふさわしい季節となってきました。

中央公民館では今年もいろんな教室、講座を開級しています。少し紹介しますと、

- エアロビクス教室（23名）
- 子どもクッキング教室（22名）
- おもしろ雑学講座（30名）
- 乳幼児サークルつくしんぼ（21名）
- 幼児サークルあすなろっ子（8名）

その他に、生花、油彩、茶の湯陶芸、手話、手づくりおやつなどの教室に百余名の人達が参加してくださっています。この他にも色々な活動・教室を行っています。

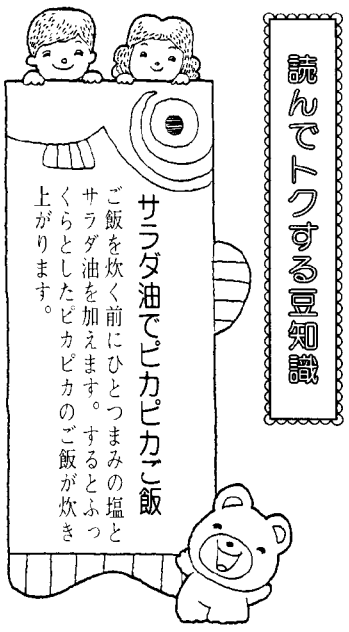
今からでも受付けています。今年は春から趣味をもってみましょう。

小須戸町には自分達でサークルとして活動している団体が五十余有ります。

写真・絵画・習字・コーラス
唄・踊り・社交ダンス
大正琴・カラオケ・詩吟
川柳・俳句・短歌・文書
生花・茶道・体操・太鼓

などのグループがあります。詳しくお知りになりたい方は中央公民館（三八－二二三四）へお気軽にどうぞ。

読んでトクする豆知識



サラダ油でピカピカご飯

ご飯を炊く前にひとつまみの塩とサラダ油を加えます。するとふっくらとしたピカピカのご飯が炊き上がります。

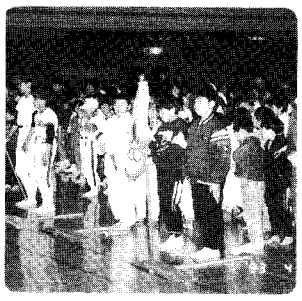
誓いも新たに合同入団式 元気に楽しく!! 小須戸町スポーツ少年団

四月十七日(土)午後七時十五分小須戸町のスポーツ少年団が一堂に会し、新規加入団員を多数迎えた中で合同入団式が行われました。

団員総勢二〇〇有余名。それに、各団指導者並びに保護者会の面々も加わり、厳粛且つ盛大なセレモニーが展開されました。

各団のプラカードと団旗を先頭に「日本スポーツ少年団行進曲」の響きに合わせた入場行進で始まりました。入学したばかりの可愛らしい小学一年生から中学生まで一団となって進む様は、実にほほえましい光景でありました。

続いて、日本スポーツ少年団並びに県スポーツ少年団の本部より表彰を受けた優秀団及び団員の育成に功績のあった指導者へ、それぞれ賞状が伝達されました。歴史ある小須戸町スポーツ少年団の名声の高さを知らされ、会場から一斉に拍手が湧き起こっていました。



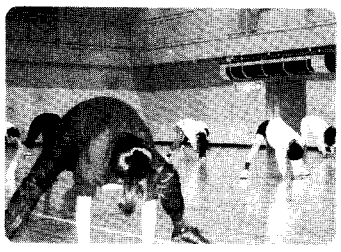
来賓の方々からの温かい激励の言葉に続いて、各団の代表が団旗を持って前に進み、弧を描くように位置した所で力強い宣誓が行われました。

郷土の発展に夢を託す少年達が、きょうの入団式を契機に日本スポーツ少年団の一員としての自覚をもって、大いに心身の鍛練に励み、健闘してくれることを期待いたします。

4月のナイスショット

4月17日・18日　花とダンゴまつり
なじらね～やっぱり花よりダンゴらね

4月22日　手話教室　皆んなで、和気あいあい、やってま～す。



4月23日　エアロビクス教室　ワン・ツー・ワン・ツー　みんなでガンバローヨ!

催し物ご案内

身体障害児育成
チャリティーショー
皆さんのご来場をお待ちしております。
日時　五月二十三日(日)
昼十二時三十分～
会場　中央公民館三階ホール
主催　民謡愛好会
智洲舞踊会

婦人会手芸教室
(パッチワーク)
皆さん習得してみませんか。
期間　六月～十一月
第一・第四水曜日
時間　午後七時三十分から九時三十分まで
会場　中央公民館二階会議室
会費　実費負担
申込み　五月末日まで板井宅(三八―二一五〇)か中央公民館へ

第十三回町長杯争奪卓球大会
期日　六月十三日(日)
午前八時三十分受付開始
会場　町民体育館
種目　男・女団体、個人戦(初心者の部・主婦の部)
参加料　団体一チーム六〇〇円
個人一人　二〇〇円
申込み　六月一日まで中央公民館へ(必着)
主催　卓球協会・体育協会

なごやかクラブより
先月号で紹介しましたなごやかクラブより社交ダンスもやっていますから、どしどし参加してください。

六月のおもしろ雑学講座
「てんびんの詩
～商人道を学ぶ～」
期日　六月十一日(金)
午後七時三十分～九時
会場　中央公民館二階会議室
お話　大塚　正勇さん(新津市)

〈図書寄贈御礼〉
五泉市　椿　克己様
中央通五　涌井　富雄様
ありがとうございました。

リングプル収集状況

5月1日現在
123.8kg

学校教育 奨学基金御礼

前教育長の椿克己氏より町への奨学の為にと、五十万円が寄付されました。ありがとうございました。

図書だより 〈新刊図書案内〉

◆中央公民館図書

白い屋根の家　藤堂志津子
おかあさん疲れたよ　上・下　田辺　聖子
カルテの向こうに　徳永　進
天声人語　朝日新聞社
女優X　夏木　静子
ひるめしのもんだい　椎名　誠
炎立つ(壱・弐)　高橋　克彦
これが世界だ　落合　信彦
清貧の思想　中野　孝次
成語林　旺文社
瑠璃を見たひと　伊集院　静
皇太子の愛　山内　継祐
上杉鷹山(上・下)　童門　冬二
女ざかり　丸谷　才一
万華鏡　遠藤　周作

◆ふれあい会館移動図書

夜の哀しみ(上・下)　三浦　哲郎
越後風雲録　星　亮一
秘伝　池波正太郎
落日の門　連城三紀彦
西鶴人情橋　吉村正一郎
おろかな日々　椎名　誠
良寛異聞　矢代　静一
まんが化石動物記　他二十冊
とんち話むかし話　全十冊
他三十冊　全十五冊

皆さん是非ご利用下さい!!

〔フィルム貸出し〕
フィルムを借りて大いにご利用を。
小学校・地域・職場のみなさんからご好評いただいているフィルム貸出しをやっております。
専門的なものから幼児関係まで幅広い分野のフィルムを用意しておりますので、公民館へいつでも連絡をください。

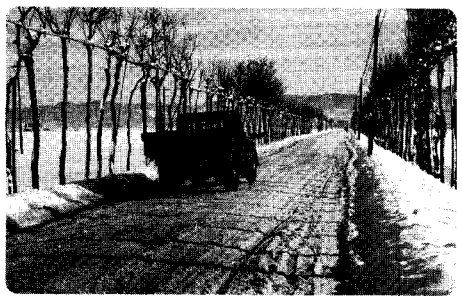
〔備品貸出し〕
各種催し物を開かれる際、必要となる備品を貸出します。
シート・ゴザ・椅子等準備しております。ご利用される方はお早目に公民館へ連絡をください。

〔映写機貸出し〕
運転者講習会や職場・団体で映写会を開く場合はどうぞ16㎜映写機(但し、資格証をもっている人が操作をお願いします。)を、ご利用ください。

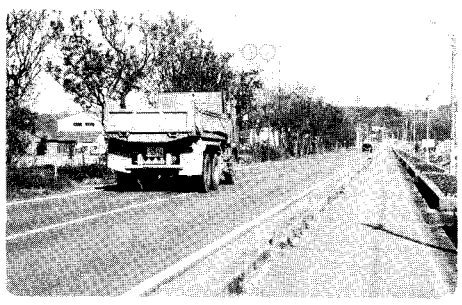
ふれあい会館図書を利用しよう

昨年度、ふれあい会館図書利用者は延べ七百人。お気軽にあなたも利用して下さい。

こすどまち今昔写真展 (26)



(昭和45年)



(現　在)

県道白根安田線

雪道でわからないが、昭和40年頃に舗装道路になる。昔なつかしい、はざ木も上手側は、農薬防除の為昭和52年頃伐採された。その後、県道は通勤、通学に危険な為63年度で整備され、さらに“うるおいとやすらぎの沿道整備事業”で平成4年度フラワーボックスが設置された。

これは言いたい! ～開発地域の名称づけに配慮を～

矢代田に住宅団地の開発計画が次々と出されていますが、団地の名称についてもう少し配慮が欲しいと思います。

古くからの地名には、その地域の歴史やそこに暮らした人々の文化が感じられます。新しい開発だからといって古くからの地名を借り物の都市部に迎合したような名称をつけてしまうのは、矢代田の独自性をも捨ててしまうことではないでしょうか。

古い地名が、新しい地域開発になじまなければ、何かしらの関連を考えて、意味ある名称にしてほしいのです。

もっと、矢代田の地域の文化や歴史を守り育ててほしいと思います。

匿名希望松ケ丘の住民より

◆役場総務課

住宅団地の名称をつける時は不動産会社の方で団地名を決めてから売り出しを始めると聞いています。しかし、町内名は町独自の呼び名ですから、検討をしてつけています。一例を上げてみますと、「矢代田ハイタウン」(業者名称)を「松ケ丘」(町の名称)。とつけています。

文芸欄

川柳

ボケ防止公民館に聞く講座　松沢キヨ
ふる里へ帰る賛歌に赤トンボ　藤井春江
こんな日もあったな孫と通学路　我妻清作
子の夢へ離れた親の応援歌　髙橋ただし

短歌

朝の駅媼の背の荷を左手でつかみし男の白の杖見ゆ　村山文子
かにかくに健やかなりぬ喜寿の祝賜わりし時に拍手はやまず　長井武雄
さりげなくなげ込まれゐる草菱の黄に枯るる葉の似合へる器　吉田久次
余生とは哀しき言葉吾ひとりとめどなく降る雨をみている　鈴木ハナ

俳句

一湾にひしめく漁船鳥帰る　間島秀穂
制服の似合うて末子卒業す　佐久間久子
春灯に針たしかむる万歩計　吉田ミナ
何事もなく昼飯の後の春　吉田素糸
久方に会ふともがらやさくら時　間野えり
啓蟄の岸辺に忘れし蚯蚓箱　藤井ハルエ
病院車より手をつなぎ花景色　東樹チヨ
二階窓小開きにして四温晴　長井武雄

峠越シリーズ(春季野外活動研修会)…目的地―諏訪峠　5月23日(日)AM8:00出発　先着23名にて〆切
申し込み―中央公民館　¥3,500円(当日)　集合・出発　中央公民館・森田　登(38―2335)
主催　キャンプ協会　山岳会